



DIY ワークショップで生まれ変わった移住促進住宅 入居者募集にあわせて内見会を開催

空き家となっていた旧教職員住宅を移住希望者の賃貸物件として活用するため、令和4年度に立科町地域おこし協力隊と町企画課が、住民や他県からの参加希望者らとDIY ワークショップを行った移住促進住宅が完成しました。立科町では初の試みです。このたび入居者募集にあわせて内見会を開催します。

1 日時

令和5年7月15日(土) 13時～16時(時間内自由見学形式)

2 場所

立科町移住促進住宅(立科町芦田1845-3)

3 入居者募集期間

令和5年7月3日(月)～令和5年8月4日(金)

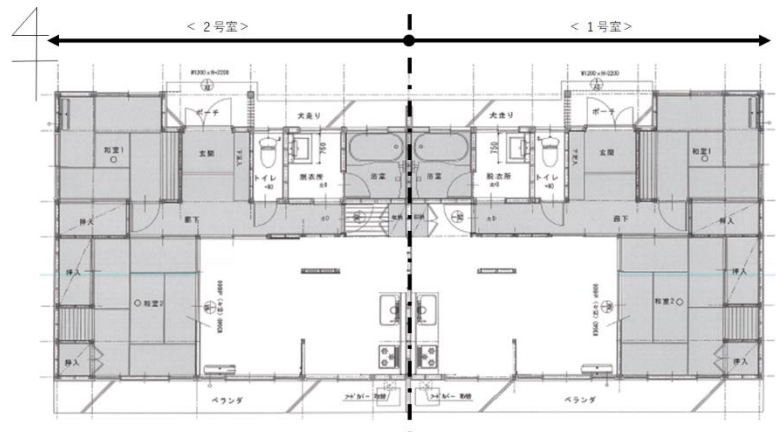
4 物件概要(2戸共通)

建設年度	昭和60年(令和4年改修)
構造	木造平屋
規模	3K: 60.29㎡
家賃月額	35,000円
敷金	3ヶ月分(105,000円)
入居可能期間	入居開始日から3年以内 (特に必要がある場合は 最長5年まで延長可能)

<地図>



<平面図>



5 取材のご案内

取材をご希望の方は、事前に企画課・今井までご連絡をお願いいたします。

※取材の際のお車は旧千草保育園(立科町芦田1838-1)へお願いします。

(参考) DIY ワークショップの様子は立科町(公式)noteで公開しています。

<https://tateshina-town.note.jp/m/mbe1229062700>

本事業は令和4年度長野県地域発元気づくり支援金を活用しました。



立科町マスコットキャラクター
しいなちゃん

立科町 企画課 地域振興係
(課長) 竹重和明 (担当) 今井大地
電話 0267-88-7315(直通)
E-mail: kikaku@town.tateshina.nagano.jp